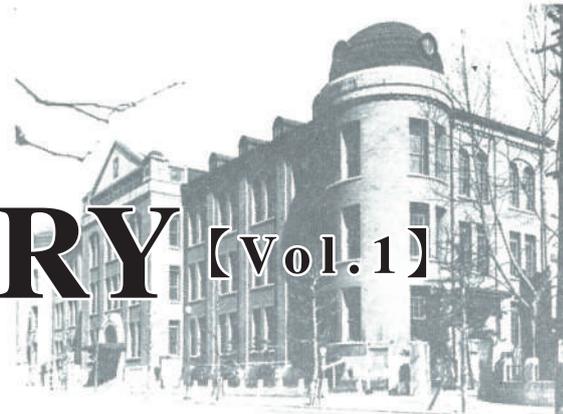


# Looking Back on

# TIRI's HISTORY [Vol.1]



100年

## 2021年、都産技研は設立100周年を迎えます。

始まりは1921年10月、大正時代に設立された府立東京商工奨励館であり、その後4つの試験研究機関(府立東京商工奨励館、東京市電気研究所、東京府立染織試験場、東京都立アイソトープ総合研究所。いずれも設立当初の名称)が順次統合され今日の姿となりました。

100年に一度のこの機会に、都産技研はさまざまな記念事業に取り組んでまいります。

このコーナーではこれまでの歴史を振り返り、都産技研の100年を少しずつひも解いていきたいと思ひます。

## 『原点』

冒頭にもあるように都産技研は2021年に設立100周年を迎えます。

始まりは1921年10月、大正時代に設立された府立東京商工奨励館であり、その後、東京市電気研究所、東京都立アイソトープ総合研究所、東京府立繊維工業試験場と4つの試験研究機関が順次統合され、2006年には中小企業振興センターの技術部門を統合するとともに地方独立行政法人化し、現在に至っています。

写真(右上)は朝日新聞1921年(大正10年)11月10日付夕刊に掲載された商工奨励館開館の記事です。見出しには「府下商工業者の親切な相談相手」と記されています。記事本文には「府下商工業者の親切なる相談相手となり輸出品に對して助言するは勿論一切の工業試験の依頼に應じ又商工業上の調査を爲し當業者の参考に資する等商工業者の顧問となる積りであるから十分利用して貰ひたいものである」とあり、時代は変わってもミッションの基本は現在も変わっていないことがわかります。

私たち都産技研は100周年に向けて『原点』をみつめなおし、基本理念を再認識するとともに、そのミッションを次の100年に引き継いでいかななくてはとの想いを強めています。

(設立100周年記念事業プロジェクト実行委員会)



1921年11月10日付朝日新聞夕刊の記事

	府立東京商工奨励館	東京都立産業技術研究センター
スローガン	商工業者の顧問	頼りになる都産技研
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業上の調査</li> <li>工業試験の実施</li> <li>親切なる相談相手</li> <li>輸出品への助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発</li> <li>製品開発支援</li> <li>技術支援</li> <li>産業人材育成</li> <li>技術経営支援</li> <li>海外展開</li> <li>情報発信</li> </ul>
支援対象	東京府内商工業者	都内中小企業

府立東京商工奨励館と現在の比較  
スローガンや事業内容にも共通点が多い